

○ まちづくりスタッフ会議の結果について

第4回まちづくりスタッフ会議 次第

日時：平成27年7月11日（土）10：00～12：00

場所：一関市役所

第1部会：2階大会議室A

第2部会：議会棟議員全員協議会室

第3部会：議会棟第4委員会室

第4部会：会議室棟第4会議室

第5部会：2階大会議室A

1 開会

2 出席確認

3 報告

分野別計画草案について

【資料No.1】分野別計画草案

- ① 下記の2点により修正しました。
 - ・まちづくりスタッフ会議からの意見によるもの（一部、検討中のものもあります）
 - ・担当課による表現等の修正
- ② 削除は削除、追加は下線で表示しています。

【資料No.2】まちづくりスタッフ会議からの意見

対応の番号については下記のとおりです。

- ①：「施策の展開」に反映が可能なもの
- ②：「市民の参画」に反映が可能なもの
- ③：意見として承るもの（今後の事務事業の参考とします）
- ④：既に分野別計画の草案に記載済のもの。
- ⑤：既に事業として実施しているもの。

4 協議

各分野における（仮）重点施策の選択

【資料No.1】分野別計画草案

5 閉会

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
1	1	2	意見	1-1	これ(施策)を目指してやっていければよい。農業は後継者不足が深刻。遠野は市が外から入ってきた方に農家と提携して仕事を与える取組をしている。	③	
2	1	2	意見	1-1	地元の物が地元のスーパーにない。大きなスーパーで地元のものを置いて、地元の方に購入してもらいたい。流通の仕組みを。自家(域内)消費を振興してほしい。	④	1-1-2
3	1	2	意見	1-1	消費者にとっては、通年で産直で売れるような生産体制を構築することに支援してほしい。	③	
4	1	2	意見	1-1	産直同士の(遠いところとの)ネットワークを構築してはどうか。	③	
5	1	2	意見	1-1	産直に商売の仕方を教えてほしい。	③	
6	1	2	意見	1-1	ITでの販売とか、写真を撮ってPRしたり、商売のノウハウを行政として教えてあげる。	①	
7	1	2	意見	1-1	農業と工業の従事者数割合を見ると、農業者の割合が多いのは特産品(ブランド)を持っているところである。一関はどうか。	③	
8	1	2	意見	1-1	情報発信が大事(農業分野)。良いものを作っても伝わらなければ意味がない。	⑤	地産外商促進事業 一関のめぐみブランド化推進事業ほか
9	1	2	意見	1-1	農業者の育成と指導も大事。	④	1-1-1
10	1	2	意見	1-1	空き家だけの紹介だけでなく、土地(農地)付空き家として紹介を。そして、育成と指導を。	⑤	農村地域定住・就農促進支援事業
11	1	2	意見	1-1	農業施策全体、商売として成り立つことを前提として事業を展開してほしい。	④	1-1-2
12	1	2	意見	1-1	森林組合との付き合いがあるが、林業振興は難しい分野である。	③	
13	1	2	意見	1-1	個人的に山を持っているが、金をかけて管理しない。	③	
14	1	2	意見	1-1	きれいな施策展開を記されていても、どうか。	③	
15	1	2	意見	1-1	間伐してバイオマスをやるんでなくて、あまった物でやらないと。	③	
16	1	2	質問	1-1	山林の除染はどう考えるか？	③	一般の山林除染は行っていないところ です。

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
17	1	2	意見	1-1	バイオマスをやるとして、どのくらいの山林が必要とか、数値的なもの、コストも含めて示せれば。	③	
18	1	2	意見	1-1	伐採後、吉野山の桜とか、違うものを植えて観光地化することも考えては。	③	
19	1	2	意見	1-2	全ての事項は網羅されているが、特色(シーズ)がない。	③	
20	1	2	意見	1-2	工業分野や機密があって、なかなか本音の交流ができない。そこを行政が解きほぐしてほしい。	④	産・学・官の連携であれば単位No.1-2-3で記載済です。
21	1	2	意見	1-2	各地区に大なり小なり工業クラブがあると思うが、クラブで研修で意見交換している。工業クラブの育成を。	⑤	企業連等への補助金交付、職員の企業連絡連等への参加、工業振興事業費
22	1	2	意見	1-2	一関の工場で何作っているかわからない。工業ショーとか工場見学とか見せることがあってもよいのではないか。	⑤	企業情報交換会(毎年2月、公開実施)、企業ネットワーク推進事業、次世代ものづくり定住促進対策事業(H27新規)
23	1	2	意見	1-2	↑これで、高校の地元定着が図られるのではないか。	③	
24	1	2	意見	1-2	東口の工業製品の展示スペースの活用を。西口にあったほうが良いのでは。	③	
25	1	2	意見	1-2	ランドマークが大事では。外から来た人にアピールを。一関は何なのというイメージを。	③	
26	1	2	意見	1-2	駅の活用(工業、商業、農業、観光)	③	
27	1	2	意見	1-2	地域内発型産業の振興というのは工業に限ったことではない。農商工連携のフレームが大事	③	
28	1	2	意見		産業の発展にいかに市民が参加できるかという観点で計画を策定した方がよい。	③	
29	1	2	意見		地域を絞って、地域ごとに議論していけばよいのでは。地域の特色をだしたほうがよい。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
30	1	2	意見		100%の施策ではなく、まんべんなくでなく、何かを目指していけば。	③	
31	1	2	意見		中心市街地を核としたまちづくりは必要である。	③	
32	1	2	意見		一関以外の研修会への参加への関わりとか、紹介とか。	③	
33	1	2	意見		学校と企業と職訓校との連携を(人材育成)。	④ ⑤	1-4-3 能力開発と人材育成 3-2-2 ⑤ 生徒の職業観、勤労観を育成するため、発育段階に応じたキャリア教育に取り組み、地域の教育力を活用する職場体験学習を実施します。
34	1	2	意見		外から企業を呼んでくるだけでなく、人材を育成してほしい。	④	1-4-3 能力開発と人材育成
35	1	2	意見		行政がきっかけを作って、会社社長が参加しての技術の話をするとかネットワークを作って市民参加を促してはどうか。	⑤	産学官イブニング研究交流会では企業の代表者、技術担当、高専教授等を講師に毎回セミナーを実施(自由参加、セミナーのみ無料)
36	1	2	意見		産学官イブニング研究交流会へ農業分野の参加を。	⑤	自由参加(セミナーのみ無料)、既に農業分野の参加者あり。
37	1	3		1-3	商業で今一番大事なものは核になるものがあるかどうか。 核になる店舗がなければ集客は難しい。 各店舗があれば周辺の小さな店舗もお客が来る。 昔の一関の市街地も核店舗があったのにぎわった。 駅前であればやはり駐車場が重要。 その2つがいかに解決できるかが重要。 川崎の道駅周辺はできた当時は2~3軒くらいしか家がなくて様子見であった。 しかしその後今のようになった。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
38	1	3		1-3	一関のまちでも何か特色のある取り組みが必要では。	③	
39	1	3		1-3	市役所としてやることは商工会議所にお金を出しますというのが正直なところでは。10年20年持つようなビジネスをやってもらえなければビジネスではない。継続してやっていけるようなサポートをしてもらえるのが商工会議所だろう。商売がうまくいくようなサポートがあればいい。お金だけではなくサポートも。	③	
40	1	3		1-3	行政の役割は、ビジョンを市民に提示することでは。	③	
41	1	3			一関駅前はいいい例では。 商業と観光を一緒に考えては。 一関全体のパイを増やすことを考えては。平泉には多くの人 coming いる。 一関市内だけではなく全域に。 遠野では遺産をアピールして人を集めている。 商品券も2,000円はプラスだが10,000円は自腹、それでも買うのか。 地元内でしか使えないので遠くの親戚などには送れない。	③	
42	1	3		1-3	道の駅は地元の人が行くよりも観光客が来るというイメージがある。 農産品を買うのであれば道の駅よりも地元のスーパーに行くと思う。 新規に集積しているエリアとは別な形で一関市内は客のターゲットとか考え方を変えたほうがいいのでは。 外から入ってきた人への土産とか。考え方を少し変えてみては。	③	
43	1	3		1-3	何かに絞らないといけないのでは。 広く経営者に力添えをします。後は事業主さん次第ですというよりは、何かに集中したほうがいいのでは。 観光客へも一関の発信をしなくては。 専門に駅周辺を開発する計画を立てる部署がほしいのでは。 いろいろな事業をするよりも事業に集中しては。	③	
44	1	3		1-3	堤防かさ上げでのワークショップに参加した。中心市街地をどうするか。 旧市街地は一関市の顔である。それをどう元気づけるか。 勝手にやってではだめだ。 核になるものが、スーパーみたいなものがそろわないと郊外型店舗には太刀打ちできない。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
45	1	3		1-3、1-4	商工と観光を一緒にしたほうがいい。 特に観光に絞っていったほうがいい。 外人が増えているので、平泉をうまく使って国際的な発信をしながら街づくりをしていって は。	③	
46	1	3		1-4	観光客からおみやげ物を駅の外で売っているかという質問を受ける。 たとえばホームページも日本語だけだと外国人の方に十分情報が発信できていない。 ただの漬物でも平泉みたいに特産のからしを使っているということでも十分土産になる。 情報の発信の仕方が重要。	⑤	
47	1	3		1-4	一関はパンフレットを個々に発行している。遠野市はまとめたブックがある。 HPも観光と入れればすぐそのサイトに行くと便利だ。	③	
48	1	3		1-4	一関の魅力は何？ということ発信していないのでは。 一関の人が一関の魅力を知っているのか。 観光ガイドをはじめるとは魅力を知らなかった。 教育まで考えないと魅力の発見できないのかもしれない 市民の方に魅力をわかってもらう必要がある。	③	
49	1	3		1-4	一関市も観光地での被災地などでやっている語り部が必要。	⑤	いわいの里ガイドの会で取り組んでおり ます。
50	1	3		1-4	会議所の藤沢支所で食べ物のPRをしている。 地域ごとのパンフレットも作成していけば。 藤沢独自のパンフレットを作っている。	③	
51	1	3		1-4	川崎道の駅でも独自にパンフレットを作成している。 平泉などの地図も入っているのでお客さんの評判がよい。 ただし、独自では経費の関係で数が作れない。	③	
52	1	3		1-4	平泉と一関の観光パンフが連携されていない。 情報インフラの整備をしてほしい。 市民に対する情報発信もできていない。 情報発信は専門の人がいないと難しい。これからはそういう体制が必要では。	⑤	市公式観光ホームページでは、平泉 町の情報を含め発信しています。
53	1	3		1-4	市のHPのイベントを検索したら一気に出てくるようにしたら便利。	⑤	市公式観光ホームページでは、イベ ント情報を発信しています。

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
54	1	3		1-4	駅前に何かしらの観光地らしいものがほしい。 観光地をイメージ化させないとだめだ。	③	
55	1	3		1-4	お客さんを誘導するものがない。 何を残すか。昔の名残が残っていない。 何を大事にして観光の町を作っていくか。	③	
56	1	3		1-4	平泉に依存した観光。 その対抗した形で一関独自の観光地を作るのは無理なので、ルートの考えて地道な 取り組みが必要。 観光する年代(ターゲット)に応じた戦略が必要。	③	
57	1	3		1-4	観光になると同じ話になってしまう。平泉、厳美溪とか。 JTBとかとタイアップして、それ以外何を組み合わせればお客さんにPRできるかを検討し ていくことも必要。	③	
58	1	3		1-4	釜石の遺産登録とか他の地域にも乗っかって観光PR、アピールしていけば。	⑤	広域連携推進事業、伊達な広域観光 推進協議会、世界遺産連携推進実行委 員会等により他市町と連携して観光振 興に取り組んでおります。
59	1	3		1-4	リピーターが大切。リピーターをどう増やしていくか。 もち。そば。食べ物が大切。	③	
60	1	3		1-3、1-4	商業で商売をするには利益率を高いものを売るか、数を売るか。 内部でいかに外部にお客を出さず地元のものを消費させるか。 必要なときに必要な情報を流す。 岩手モバイルメールで情報発信されている。これの一関版も。	③	
61	1	3		1-4	観光は平泉だけで呼び込むのは限界がある。 周辺も含めて呼び込む。 千厩町での坑道パンフレットがあるが、これを元に観光に発展させていく可能性もある。 バルーンフェスティバルも何かしらのアイディアで他の地域との差別化を図るべき。 島根では漁師になるために助成金を出し人口増を図っている。 抜本的な変更には何かしらの軋轢が伴うがそれを乗り越えていかなければならない。	⑤	広域連携推進事業、伊達な広域観光 推進協議会、世界遺産連携推進実行委 員会等により他市町と連携して観光振 興に取り組んでおります。

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
62	1	3		1-4	観光は裾野が広いものだ。 お土産品、宿泊施設とか産業とのかかわりが大きい。 特産品とどう結びつけてビジネスにしていくのか。	③	
63	1	3		1-4	室根大祭、藤沢野焼きとか一関市内の他の地域も説明できる知識を持った人を育成するのがいいのでは。	③	
64	1	3		1-4	ガイドのネットワークが必要。 水かけ祭り、室根大祭、館が森、花泉とか。	③	
65	1	3		1-4	地域をつなぐ観光のネットワークの構築には市民センターを活用していったほうがいいと思う。	③	
66	1	3		1-4	地域協働体で冊子を作成している。 実際イベントに参加する市民が増えていけば祭りも盛り上がる。なぜそうならないか。 各地域の祭りでも特色を出していければ。(焼きそばとかでも)	③	
67	1	3		1-4	一関、平泉、千厩のガイドについては把握している。 忙しいときは平泉の応援もしている。	③	
68	1	3		1-4	藤沢町の田んぼの中に100tくらいの大きな岩がドンとある。そういう地元のことをご案内する方々がぱらぱらというようだ。 各地域でもボランティアで各地域のお宝の説明はしてもらえる。 ただし、それをネットワーク化している組織はないのでネットワーク化するなどして情報の共有を図り、地域資源を観光振興に生かしてはどうか。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
1	2	1	意見		画期的なものを作りたい。そのための意見の吸い上げだと思う。今までは思いつかなかったものも提案し、全体的にまとめていきたい。	③	
2	2	2	意見	2-1	国際交流について、広報活動として、情報をどこで発信しているのかわからない。	①	
3	2	2	意見	2-1	藤沢は遅れて一関になった。地域としては周知しているが、もっと広く周知してほしい。	③	
4	2	2	意見	2-1	外国人の民泊、通訳等受け入れの体制充実が必要。	③	
5	2	2	意見	2-1	広報を楽しみにしている。国際交流にかかる記事も、もっと掲載してほしい。自分は何でも体験したいと思っており、外国人の受け入れも経験してみたい。	③	広聴広報課、まちづくり推進課同様
6	2	2	意見	2-1	広報において国際交流を特集してほしい。市民もその記事に触れて、各自考えてみてほしい。	③	広聴広報課、まちづくり推進課同様
7	2	2	意見	2-1	目的や、共通するプロトコルがないと、姉妹都市だとしても交流する要素はないと思う。国際交流を積極的にするのであれば、たとえばILCの関係でつくば市など共通する言語のあるところでないとなりにくいくところもある。	③	
8	2	2	意見	2-1	アイーナの中に国際交流課がある。市民自ら勉強するのも手なのでは？	②	
9	2	2	意見	2-1	市内の775人(在留外国人)は、奥州市に比べても多い。チャンスは多い。しかし、市民に国際交流の集まりへの参加をもちかけても、出ていただけないケースが多い。ぜひ、興味ある方が率先して機会をもっていただければ。現在、難民申請をしているのは国内で約3,000人。一関でも難民の方々とふれあいの場を作りたい。	③	
10	2	2	意見	2-1	PR不足なのか、市民のニーズはどこなのか(たとえば自分は中国語でなく、英語を勉強したいとか)、リサーチする価値はあるかと思う。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
11	2	2	意見	2-1	学校教育の中での言語教育に関して、こどもは触れ合う機会が多いと思う。英語と英会話は別。学校でも、将来に向けて充実していくことが肝要。	④	3-2-1 次代を担う子どもたちの国際性を養うため、小学校外国語活動や外国語教育の充実など国際的なコミュニケーション能力の養成を図ります。
12	2	2	意見	2-5	いろいろな市民活動に関する窓口を一括化してほしい。自分も積極的に参加したい。	③	
13	2	2	意見	2-5	若い女性を一関に取り込めるよう、若い女性の方を構成員としたワークショップを設置し、若い女性をターゲットとした話し合いをする場を設けてほしい。	③	まち・ひと・しごとを語る会を開催しましたが、今後も意見をいただく機会を設置する予定です。
14	2	2	意見	2-5	世代交代に関して、現在60～70代の方が先頭に立っている。次の世代にかかわってもらわないと。若い方が参加できる地域づくりをしていかなければ。自分の興味のあることについては貪欲にかかわる。その視点でイベントをやってみるとか、冒険的な内容でもやってみないと、地域のコミュニティが小さくなってしまう。	②	
15	2	2	意見	2-5	暮らしの知恵をまなべる場(生活に必要なことを、今までであれば親から教えてもらったことが現在は難しくなっている。草刈機械をつかえるとか、ガスがなくても火がなくても暮らせるとか、料理ができるとか、かなづちの使い方とか本当に基礎的なこと)をつくってほしい。一関で育った子はどこにいてもたくましく生活できる。	③	
16	2	2	意見	2-5	なぜ一関に人がいないか。雇用の創出もセットで考えていかないと、若者の幸せを考えたときにベーシックインカムとして必要。モデルケースとして、ペンシルバニアにある介護施設においては、シニアの方をどうやってよびこむか、シニアの方がお金を出せる→雇用が発生。	③	
17	2	2	意見	2-5	自分自身でお金を生めるようなことができればいいと思う。	③	
18	2	2	意見	2-4	藤沢では全戸にネットワークを設置した。全市でリアルタイムで情報を共有できる(身近な、広報でも入りきらないような)システムを検討するのもいいかと思う。	③	
19	2	2	意見	2-4	有線は便利で、本当に助かっている。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
20	2	2	意見	2-4	千厩の「まちづくりメール」のような仕組みを全市でやってもらえればいい。	③	
21	2	2	意見	2-4	一関はブロードバンド環境が悪い。盛岡と仙台の中間にあり、スピードが出にくい。スピードが出にくいというのは、企業活動を行ううえでデメリット。その強化は行政がお金を出してでもやっていくべき切実な問題だと思う。(大分県 立命館太平洋アジア大学においては完全無線LANでスピードも速い。)	③	
22	2	2	意見(市民の参画)	2-1	参加しましょう、とかいうだけでなくもっと具体的に、自治会のあつまりにも積極的に参加していただけるよう、声かけを行う。	③	
23	2	2	意見(市民の参画)	2-1	どこから誰が来ても入りやすいよう、受け入れやすいような体制作りが必要。	③	
24	2	2	意見(市民の参画)	2-1	気軽に話し合いできる場がほしい。	③	
25	2	2	意見(市民の参画)	2-1	市民センター単位で集まりがもてればいい。	③	
26	2	2	意見(市民の参画)	2-5	今の若い方には、地域コミュニティの一員である意識が希薄。意識を作っていないと長続きしない。自分が住んでいる地域のために自分が何ができるか、という意識付けを持ってもらうことが必要。	②	
27	2	2	意見(市民の参画)	2-5	どの集まりにいても参加する人が同じ。	②	
28	2	2	意見(市民の参画)	2-5	若い人たちもLineやFacebookでコミュニティを形成している。	③	
29	2	2	意見(市民の参画)	2-5	若者が求める楽しさと、上の層の楽しさは別。上の人たちが若い人の活動をつぶさないようにしないと。	③	
30	2	2	意見(市民の参画)	2-5	今ある現状を受け入れるしかないのか、とっていた。意識を高めることで、今参加している部会のような場で意見を出すこともできると思う。	③	
31	2	2	意見(市民の参画)	2-5	Lineやメール等であればもっと意見のある人たちの間で盛り上がるかと思う。	③	
32	2	2	意見(市民の参画)	2-4	ハードウェアができたときに、市民がどう利用するか。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
33	2	2	意見(市民の参画)	2-4	インフラに対しお金を取る、というのだと、道路ができたらお金を払うというのと一緒に、二の足を踏むのでは？その上で、ソフトウェアのサービスを楽しんだら対価を払う、という形では？	③	
34	2	2	意見(市民の参画)	2-4	使えない人を置いてけぼりにしていいのか？アクセスできない人に対しても「伝える」ことが必要。	③	
35	2	2	意見(市民の参画)	2-4	(asmo)たくさん情報をいただくが、それをどうして伝えるか。聴取率は市の調査で約50%。中身も充実したいが、市民の方にももっと聴いてほしい。	③	
36	2	2	意見(市民の参画)	2-4	リアルタイムでは聴くことができず、Facebookで情報を仕入れたりしている。	③	
37	2	2	意見	その他	部会の中でも、いろいろな世代のそれぞれの情報網がある。それに対しひとつの施策で周知徹底を図るのは無理だと思う。ターゲットを明確にしないとズレる。シニアに参画してもらいたいと思ってもFacebookでの周知では無理。また婚活のイベントを回覧板で周知しようとしても無理。	③	
38	2	2	意見	その他	せっかく、いろいろな分野の方がこの部会に集まったので、各自もしPR事項があれば、次回発表していただければ。	③	
39	2	3	施策の展開	2-2	自分が「交通安全協会の花泉支会事務局」であるが、住民の要請をどう行政に反映させるか。要請(請願)に際し書類を作ろうとしても、行政用語が難しい。もう少しやさしい書類の作成方法はないか。交通事故削減のため、有効な広報についてどうしたらいいか。県外から来て事故を起こす。地域の人の話によれば、道路沿いに看板があればいいと思うが、地域には予算がないということ。	③	
40	2	3	施策の展開	2-2	県境の情報が共有されない。	③	市長から県境を超えた広域振興を念頭に県境市町村と連携を進めるよう指示があるため、情報共有について研究していきたいと思います。
41	2	3		2-3	バスに乗る人が少なくなってきた。市バスを時期限定で無料で乗れる、という広報があったが、それでも乗らない。バスがなくならないようどうしたらよいかと思う。	②	
42	2	3		2-3	毎日車通勤しているが、渋滞自体は気にならないが、雪道の運転が嫌い。電車とバスの利用を考えるが、時間にちょうど合うものがない。	①	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
43	2	3	市民の参画、 施策の展開	2-3	バス料金が高い。時間に融通が利かず、やむなく車を使ってしまう。 自分が車を運転できなくなったとき、代替手段が必要。藤沢町で単一料金で回っているコミュニティバスのようなものなど。	①	
44	2	3	市民の参画	2-3	移動がうまくできず、あまり使われたいのでは。(本数や路線の方向など)乗継が悪いと待ち時間が長くなるなど。新幹線も一関で停まるのが1本でも2本でも多くなれば、つながりがよくなるのでは。	①	
45	2	3		2-3	最寄のバス停へのアクセスが不便な場合、地域での代替をどうするか難しい。	③	
46	2	3		2-3	自分の地元(本寺)は冬でも除雪がしっかりしているので比較的アクセスは楽。観光の面を考えると、ゴールデンウィーク前の開通を目指して除雪をお願いしたい(観光客の入りがいぜんぜん違って来る)	③	国道342号(岩手県管理)についての意見と思われる。機会を捉え要望していきたい。
47	2	3		2-3	香港では、ミニバスが走っていて、路線は決まっていな。 (運転手と乗客との気持ちいい)日本国内でもミニバスを始めているケースがあるので、それを一関で取り入れたら面白い。	③	
48	2	3		2-3	仙台に行く高速バスはあるが、盛岡行きがない。 二高や工業の生徒は冬期間に自転車通学できない。定期も家庭に負担がかかるため、割引やシャトルバス等手当てがほしいのでは。 一関市にはいっぱい駅がある、という話だが、列車の最終をもっと遅くしてもらえれば、利用者の利便性もあがるのでは。	③	
49	2	3	市民の参画、 施策の展開	2-3	バスについて。コミュニティバスについて6月にフリーバスの期間があり、市も努力していると思うがなかなか利用しない。時刻が合わず結局車を使ってしまう。 タクシーのフリー制度(高齢、収入要件)も、バスを利用しない理由なのかな。 花泉では、盛岡への直通の列車がなく、不便。	①	
50	2	3	市民の参画	(交通安全)	自転車の法改正があったが、高校生の2列乗車や飛び出し等危険な場合あり。学校レベル、地域レベルなどでの指導が必要と感じる。	⑤	学校での交通安全教室は警察で実施済です。
51	2	3	市民の参画	(交通安全)	雪道で交通安全の指導員が逆に危ない場合がある。(指導員同士の私話など)地域レベルでの講習会など必要ではないか。	③	
52	2	3	市民の参画、 施策の展開	(交通安全)	街灯の設置をもう少し徹底してほしい。設置場所を地図に起こし(ハザードマップ)、危険と思われる場所について対応が必要だと思う。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
53	2	3	市民の参画	(交通安全)	交差点や歩道が設置されている道路で、死亡事故が起こらないと信号が設置されないという話を聞いた。要望はできないのか。	⑤	「交通安全施設等改善要望」により要望可能です。
54	2	3		2-2	下水道工事等を経てつぎはぎになっている道路が多く、苦情が多い。一貫性を持ってできないのか。	③	市道に係る工事は、無駄がないように年度当初調整会議を行い進めている。民間など一部工事はどうしても調整が図れない部分があるため、ご理解願いたい。
55	2	3		2-2	融雪剤について、現在のものはさびやすいことから、考慮することはできないか。	③	塩化ナトリウムに比較し、金属腐食性が低い塩化カルシウムを使用しているが、新技術が開発されれば研究していきたい。
56	2	3		2-2	磐井病院へのアクセス道について、勾配やカーブが急で、事故が多いのではないか。	③	一関警察署から聞き取りしたところ、冬場は他の路線と比較し、交通事故が多いとのこと。道路構造変更は困難であるため、運転者に徐行を促すことを検討します。
57	2	3		2-2	除雪の予算について編成基準は何か開示してもらいたい。	③	事前に降雪量を予測することは非常に困難であり、過去3か年の平均除雪実績を参考に予算編成を行っています。このことは、マスコミなどを通じて公表しています。
58	2	3	市民の参画、 施策の展開	(観光)	骨寺への観光としてのアクセスについて、平泉からの周遊バスを設置してもらえないか。	③	
59	2	3	市民の参画、 施策の展開	2-5	若者の参加が少ない。若者が町を出てしまい、山間部の地域づくりは非常に難しい。世代交代のやり方について全国で成功した例はないのか。地域における自分の立場を啓蒙するような。押し付けでなく、やる気を持ってもらう方法はないか。	④	2-5-1
60	2	3	市民の参画	2-5	他地域から嫁ぎ、義母より「うちのことはいいから自治会に参加するよう」言われた。最初はいやだったが、今では財産だと思っている。しかし、自分の自治会の中で、自分の後に続かない。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
61	2	3	市民の参画	2-5	息子や嫁でなく、「自分が！」という思いでいる高齢者も多い。また、自分の生活の中で、自分の家族(夫、子)のことが優先で、自治会は後、ということにどうしてもなってしまう。	④	2-5-1
62	2	3	市民の参画	2-6	情報ツールに関する「アナログ」の活用について、広報でも回覧板でも、見てもらうよう努力することは必要。	③	
63	2	3	市民の参画	2-4	防災無線がなかなか聞こえないところがあるが、FMあすもでも情報は仕入れることができる。併用して収集する努力が必要。	③	
64	2	3		2-4	あすものラジオについて、いざ災害時となると、電池が1日程度しか持たない。電池もちがよければ…(AC電源時、バッテリー充電ができれば)	③	
65	2	3		2-6	アパートだと、回覧板を拒否する世帯が多い。回るのも遅い。	③	
66	2	3	施策の展開	2-4	千厩のまちづくりメールのような仕組みが全市であればいい。一方的に情報を発信するアプリがあれば、回覧板を拒否するような世帯の場合でも情報受信ができる。	③	
67	2	3		2-3	たとえば地ビールフェスティバル開催時、飲酒という事情からすると、参加者は各地域からのシャトルバスがあれば利便は高まる。	③	
68	2	3			国際間、世代間、地域の中、地域間同士のつながりを大事にする市であってほしい。	③	
69	2	3			市民レベルからの要望を吸い上げ、行政として対応していただけるようお願いしたい。	③	広く意見を聴取する機会を設置する予定です。
70	2	3	施策の展開		空き家対策について、情報公開、対策が明確になれば。(市外にいる所有者に施策が伝わりにくい)	⑤	空き家バンク整備事業

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
1	3	2	意見	3-1-1	孤独な妊娠出産問題。相談窓口の周知が必要。何処に行けばいいのかわからない。	⑤	母子健康相談
2	3	2	意見	3-1-1	必要な情報が必要な人に届くように。保健センターからの情報発信が必要。	⑤	個別通知、市広報、市ホームページ、FMあすも等健康診査について個別通知送付
3	3	2	意見	3-1-1	妊婦の交流の場があればいい。	⑤	両親学級
4	3	2	意見	3-1-1	情報を得られない、気づかない人への周知の方法。	⑤ ③	個別通知、市広報、市ホームページ、FMあすも等 ・妊娠・出産届時の際に、相談を要する方については個々に対応 ・HPや広報での周知
5	3	2	意見	3-1-1	保健センターの夜間窓口の設置を。	③	
6	3	2	意見	3-1-1	電話相談、ソーシャルネットワークの活用等の検討。	③、 ⑤	電話相談については対応している。ソーシャルネットワークの活用については今後の参考とさせていただきます。
7	3	2	意見	3-1-2	学校も深くかかわることも必要。	③	学校教育課では、放課後子ども総合プラン運営委員会(委員・事務局)などに既に参画している。学校との関わりも今後増えていくと見込んでおります。
8	3	2	意見	3-1-2	まち場、田舎関係なく学童クラブの需要はあり、預ける親は多くなっている。	③	
9	3	2	意見	3-1-2	利用しやすい環境づくりを。	③	
10	3	2	意見	3-1-2	利用枠(学年制限)を広げてほしい。	③	
11	3	2	意見	3-1-2	統廃合により空いた学校が出てきているので、活用できないのか。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
12	3	2	意見	3-1-2	学習交流館では無料で利用できる事業が多くあり活用している。学童の枠を広げて高齢者も一緒に参加できるような活動の工夫を。	①②	世代間交流の事業、子ども教室の世代間交流プログラムの充実といった観点から、施策として記載を検討します。
13	3	2	意見	3-1-2	地域の人(高齢者等)を指導者として活用する仕組みを。	③	
14	3	2	質問	3-1-2	学童クラブ 第3子の減免制度ないのはなぜですか。	③	放課後児童クラブについては、入所児童が2人以上となる場合は第2子以降についての減免を行っています。なお、保育所のように第3子以降を無料とする取扱いについては行っておりませんが、ご意見として承ります。
15	3	2	意見	3-1-3	①認定こども園についての記載だと思うが、表現が難解でわかりにくい。	③	
16	3	2	意見	3-1-3	制度が複雑だったり、認定基準が厳しかったりする。認定保育園が設置しやすいサポートを。	③	
17	3	2	意見	3-1-3	へきち保育所の利用者が少なくなっている。職場の近くの保育園の利用が多い。	③	
18	3	2	意見	3-1-3	地域の活性化のためにも、へきち保育園は残してもらいたい。	③	
19	3	2	意見	3-1-3	幼稚園に延長保育があれば、預ける人も増えるのでは。公立幼稚園の利用者を増やす工夫を。	④	3-1-3 延長保育、一時保育、障害児保育、休日保育、病後児保育など、さまざまな保育ニーズへのきめ細かな対応に努めます。
20	3	2	意見	3-2-3	⑧学校の部活動の成績ばかりを評価せず、学校以外の活動も評価するようなまちであってほしい。(学校に好きな部活がなければ、他での活動を認めてほしい)部活のあり方の検討を。	③	部活動以外の個人の活動について、認めないとはしていません。
21	3	2	意見	3-2-3	学校に好きな部活がなければ、他での活動を認めてほしい社会教育、生涯教育の中で得意な分野を伸ばせるような仕組みを。	③	部活動以外の個人の活動について、認めないとはしていません。
22	3	2	意見	3-2-4	4年制大学の実現により、外部からの他県からの入学による効果に期待。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
23	3	2	意見	3-2-4	現実的に新規の誘致は難しいだろうが、既存の大学の分館誘致であれば可能性がありそう。	③	
24	3	2	意見	3-3-1	青少年健全育成協議会のあり方の見直しを。ネットワーク作りではいいと思うが、形式的なものになっているのでは。	③	
25	3	2	意見	3-3-1	赤菰地区のスクールガードの取り組みはいい事例。区長がリーダーシップを発揮している。	③	
26	3	2	意見	3-3-2	幼少期からの自発的な活動の学習が青少年の社会参加につながるのでは。地域コミュニティの欠如が課題。	②	市民の参画で検討します。
27	3	2	意見	3-3-2	事業や集まりに参加するのが楽しいと思わせる環境づくりが必要。	②	市民の参画で検討します。
28	3	2	意見	3-3-2	地域が一体となってサポートする仕組みが必要。	①	例えば教育振興運動のような取り組みが全市に広まればよいと思われませんが、文言を検討します。
29	3	2	意見	3-4-1 3-4-2	2②公民館主催講座の参加者少ない。他でもやっているような市主催講座は中止し、市内の各団体が行っている講座を活用したほうがいいのでは。	③	地域のニーズや地域課題を把握して事業を実施していきます。
30	3	2	意見	3-4-1 3-4-2	市民センター間の連携や民間団体等の活動を有効活用する。	①	
31	3	2	意見	3-4-1 3-4-2	⑥イメージがわからない。→学校以外の学習(地域の高齢者に教えてもらう)をイメージ。	③	文章をわかりやすくするよう努めます。
32	3	2	意見	3-4-3	8つの図書館に同じ本があるのではなく、それぞれに専門性(美術、音楽等)を持たせた所蔵を進めては。	③	各図書館を専門性を持つ資料の収集を目的とする「専門図書館」とする方向で運営することは考えておりません。ただし、資料選定基準によって、各館の特徴を踏まえ重点的な資料収集をしています。
33	3	2	意見	3-7-1	博物館の展示の工夫(楽しませる)が必要。	③	
34	3	3	施策の展開	3-5	高齢の方の文化活動が中心になっている。青壮年層が入っていくきっかけ、手段があればいいと思う。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
35	3	3	施策の展開	3-5	校外での活動等について、活動場所の確保などが課題になっている。スポーツ活動が可能な施設などを市広報などで発信してはどうか。	①	
36	3	3	施策の展開	3-5	スポーツ、文化活動情報は発信されていると思う。受けての問題もある？ 情報はあがるが、人が集まらないことも課題	③	行事などでは内容などで興味や関心の度合いが異なり参加者数に影響すると思われる。
37	3	3	施策の展開	3-5	学生のスポーツクラブと地域のスポーツクラブが切り離されている。学生の中にも地域のクラブでスポーツしたいと思っている人もいないか。学校のクラブにとらわれずに、地域のクラブに入ることも選択できるようにしたい。	③	地域のクラブで受け入れ体制を積極的に整えることも方法の一つと思われる。
38	3	3	施策の展開	3-5	文化、スポーツとも施設は十分にあるが、あまり活用されていない。	④	3-5-1 3-5-2
39	3	3	施策の展開	3-5	学校のスポーツ活動(スキー教室、プールなど)でも人が不足して、指導が行き届いていない。	④	3-2-1 豊かな心を育む道徳教育と学級活動や学校行事などの特別活動を充実するとともに、学校生活を豊かにするための体育・文化活動を推進します。
40	3	3	施策の展開	3-5	スポーツ活動について、やりたいけども、やるきっかけをもてない。 きっかけ作りのための情報発信を増やしてほしい。	①	
41	3	3	施策の展開	3-7	文化財公開施設について、せっかく展示、公開しても人が来る機会が増えないともったいない。学校活動に加え活用してもよいのでは。	③	学校活動に加えるかどうかは学校の判断になります。博物館等施設の利用促進については今春、各校に周知済みです
42	3	3	施策の展開	3-7	合併で地域が広がって、あるのは知っているが文化財公開施設についてなかなか行く機会がない。機会を増やす工夫をしてはどうか。	⑤	年中公開しているのでぜひ足を運んでほしいと思います。
43	3	3	施策の展開	3-7	文化財公開施設について、家族単位で、親が関心を持って子供を連れて行く意識を持ってほしい。	③	家庭教育の中で意識を高めていただきたいと思います。
44	3	3	施策の展開	3-7	文化財公開施設を市でやっている子ども向けのバスツアー(おもしろ館など)にオプションで組み込んでほしい。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
45	3	3	施策の展開	3-7	文化財公開施設について、子どもの興味を持つようなものがあればいいのでは。工夫の必要はある。	⑤	各施設ごとに、興味を持っていただけるような事業やイベントを開催するよう努めています。
46	3	3	施策の展開	3-7	文化財の学習について、強制しても興味はわかないと思う。子どもが小さいうちから、いろいろなきっかけづくりを続けていけばよいのではないか。	⑤	児童生徒向けの学習体験機会として「ときめき世界遺産塾」を実施しています
47	3	3	施策の展開	3-7	文化財について、教育委員会で小学校に配布している市の生活の副読本があるので、それを活用するのも効果があるのではないか。(子どもだけではなく)	⑤	ぜひ活用していただきたいと思います。
48	3	3	施策の展開	3-7	市にある文化財などについて、外部から来た人に地域のことが説明できないのはいい状況ではない。市民が問題意識を持つべきである。	②	行政だけでなくボランティアガイドを養成して普及啓発に取り組んでいます
49	3	3	施策の展開	3-8	世界遺産に追加登録という話だが、地域住民がもっと理解することが大事	①・④	施策の展開(2)骨寺村荘園遺跡の世界遺産登録③の表現を修正しました。現状と課題の⑥も一部修正。
50	3	3	施策の展開	3-8	なかなか価値や重要性の理解が広がらないのは、自分たちのまわりの環境とあまり違いを感じないから。	③	
51	3	3	施策の展開	3-8	地元の農産物を使ったレストランなどの取り組みは効果あるのではないか。	①	施策の展開(1)骨寺村荘園遺跡の保護⑤を追加
52	3	3	市民の参画	3-4	市民センターの講座には積極的に参加したい。	③	
53	3	3	市民の参画	3-8	骨寺村については、今のままの保存することがよいのだと思うので、清掃活動など積極的に参加したい。	②・④	市民の参画(1)骨寺村荘園遺跡の保護に記載済み
54	3	3	市民の参画		普段のあいさつは意識したい。 あいさつの定着については、地域や学校の取り組み方や地域環境によってだいぶ違いがある。挨拶の基本はまずは家庭が一番だと思う。あいさつは人とのコミュニケーションのきっかけだし、基本。	②	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
55	3	3	市民の参画	3-3	学びフェスト、各学校で作成していると思うが、この内容を生徒の家庭だけではなく、地域の中でも理解することが重要ではないか。	④	3-2-2 学校評議員制度等の活用により、開かれた学校づくりを一層推進し、学校運営の充実に努めます。
56	3	3	市民の参画	3-2	「教育振興運動」(岩手県独自の取り組み)というものが、そもそもどういった意味合いのものか基本的な理解が難しい。説明してもらいたい。	③	
57	3	3	市民の参画	3-2	一関などで、ノーメディアデーのような取り組みがあるが、子どもだけでなく家族としての取り組みが大事。	②	(1)教育内容の充実に追加 *家庭教育の充実に努めましょう。
58	3	3	市民の参画	3-2	人口減少社会で、地域的には消滅する部落などもある可能性もあるが、地域の子どもがその地域のことを理解することが大切。郷土に対する理解、愛着のない地域は続かないと思う。そのためには親の取り組み、理解も必要	②	(1)教育内容の充実に追加 *家庭教育の充実に努めましょう。
59	3	3	市民の参画	3-2	今の親世代は子どもにどういう風に教育していいかわからない人も多い。昔から続いていた生活習慣、風習などを今も生活の中に取り入れれないと実感として理解する機会がない。(今のメディアは表面的、頭の理解だけになってしまう。)	②	(1)教育内容の充実に追加 *家庭教育の充実に努めましょう。
60	3	3	市民の参画	3-2	教育についてだが、単純に言えば「子どもは親の背中を見て育つ」ということだと思う。親が姿勢を示せば子どもは理解するのだと思う。	②	(1)教育内容の充実に追加 *家庭教育の充実に努めましょう。
61	3	3	市民の参画	3-7	博物館など施設の利用率を上げていくためには、アイデア、工夫が必要	①	博物館等施設の利用促進については今春、各校に周知済です。
62	3	3	市民の参画		高校まではいいが、高校を卒業した後の地元での居場所、選択肢が限られている状況。市外に流失しないように、例えば盛岡、仙台などであれば通学の助成などがあれば地元に残る人もいるのでは。	③	
63	3	3	市民の参画		一度地元を離れる機会は個人にとっては意味もあると思う。離れても帰ってこれるような地元であればいいと思う。	③	
64	3	3	市民の参画		スポーツなど中学生くらいまで高いレベルでやっている子も県外に出てしまう。地元に残る選択の場があればよいのではないか。	③	進路は個人の自由だが、市内の高校のレベルアップを図ることも重要と考えます。

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
1	4	1	意見		市民と行政と一緒に考えていく中で、議員さんがいないので、議員さんにも参加していただきたい。	③	
2	4	2	意見	4-1	野生動物の被害が増えているので、その対策を考えてほしい	⑤ ③	一関市有害獣侵入防止柵設置事業ほか 今後も検討します。
3	4	2	意見	4-4	リサイクルの中で廃油等も資源として考える(幅広いリサイクルの考え方)	③	
4	4	2	意見	4-3	低炭素 排出ガスの規制だけでなく、排出しないようにしたらどうか	③	
5	4	2	意見	4-1	自然環境(森林など)の保全にあたっては、人の手をかけていけないといけないと思う。	③	
6	4	2	意見	4-1	森林資源をもっと活用したほうがいいのではないか	③	
7	4	2	意見	4-3	外灯を増やしてほしい(ソーラーやLEDなど)	⑤	
8	4	2	意見		放射線量の対策	⑤	放射線量低減事業
9	4	2	意見	4-3	水資源を活用した発電の推進(小水力発電)	③	
10	4	2	意見	4-4	ゴミの減量化を推進してはどうか(昔はゴミが少なかった)	④⑤	4-4-(1)、「有価物集団回収報償金」「生ごみ減量機器購入事業補助金」「小型家電回収」「古着回収」
11	4	2	意見		ゲリラ豪雨対策として河川や森林の保全等を行ってほしい	③	
12	4	2	意見		太陽光発電を地域の集会所などにも設置してほしい	③	
13	4	2	意見		千厩川 毎年サケの稚魚を放流しているが、遡上のためのトンネルを作ってほしい	③	
14	4	2	意見	4-3	省エネ対策をポイント制にし、ポイント数に応じて補助金などを出したらどうか	③	
15	4	2	意見	4-1	いろいろなボランティア活動を行っているようだが、いつどのような活動を行っているのか分からない	③	
16	4	2	意見	4-1	ボランティア活動もポイント制にしてみてもどうか	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
17	4	2	意見	4-1	ボランティア活動の情報発信はネット等を使えない人でも分かるように(スーパーやコンビニ等にも掲示)	③	
18	4	2	意見	4-4	ゴミ袋の記名、番号 集積所の管理	③	
19	4	2	意見		地域の公民館のバリアフリー化を促進してほしい	⑤	自治会等活動費総合補助金の活用も可能です。
20	4	2	意見	4-4	生ゴミの堆肥化を集落単位でできるようにしてはどうか(大きな処理機)	③	
21	4	3	意見	4-6 4-7	老朽化した市営住宅、風呂のない住宅がある。解体して整備しては。上水道・下水道に関しては、必要性のないところに下水道が伸びていたり、必要なところに整備されていなかったりしていることを痛感している。	① ③	
22	4	3	意見	4-6	上水道に関して、地域の環境を守るためには水道の水を使うこと。浄水器を付ける補助金の使用。なぜ買って水を飲むか、水道水を使うべき。水のありがたみを感じた。	③	
23	4	3	意見		居住地が、親は地域(田舎)の方で、子は市街地だという家族も多い。	③	
24	4	3	意見		アパートが増えて空き家が増えている。誰も手を付けない放置された家が環境を悪化させている部分がある。空き家の活用を地域で検討できればよいのでは。	③	
25	4	3	意見	4-1	花いっぱい運動もありますが、山、森林、川をきれいにする方法があるのではないか。	④	2-5-1
26	4	3	意見		空き家が増えている。山間部で空き家利用のはたらきかけを。	⑤	空き家バンク整備事業
27	4	3	意見		近所づきあい、面倒くさい、集まりに出たくない。東京から来ている人、山間部に暮らしている人、などは集まりに出ない。	④	2-5-1
28	4	3	意見		昔は、森林の下草刈などに補助金があったが今はなくなってしまった。そのため荒れてきたこともあるのではないか。	③	
29	4	3	意見		農家・農村の力を再生可能エネルギーへの転換に生かしたい。水路を生かした発電はどうか。	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
30	4	3	意見	4-6	上水道の水は、赤荻の家で上水道を飲んでみたが舞川の水と違う、タンクの水という原因があるかもしれないが、地域によって水道水の味が違う。	③	
31	4	3	意見		山間部の空き家が多い状況。地域活動するにも人がいなくなっている。地域活動に参加しない人も多い。人との繋がり、ボランティアが大切だと思う。	③	
32	4	3	意見	4-5	関が丘団地は昭和40年代にできて今は空き家が増えてきている。市営住宅は入居者が多い。新しい市営住宅を建てるよりも空き家を活用できる方法がないか。中山間に見合ったモデル整備が必要では。	③	
33	4	3	意見	4-7	下水道だけではなく、合併浄化槽の利用も検討できるのでは。空き家の状況。アパート震災前は入居率6割、今は8割の入居率。アパートの利活用、空き家の利活用がこれからの問題。里山の整備、これからは補助金はない。補助金がない中で里山の整備を考えていかなければならない。補助金がなくてもできる仕組み(システム)づくりが必要。	④ ⑤ ③	4-7 空き家バンク整備事業
34	4	3	意見	4-7	居住者ニーズに合った住宅の建て替え。里山の手入れにも当てはまるが、少し長いスパンでの考え方。必要のない下水道整備しかり、長期的な計画・まちづくりがあるべき。	④ ③	4-7
35	4	3	意見		住宅の計画的な建て替え。住居、長いスパンのビジョン。必要などころにみんなで共有。ILCがくれば巨大住宅街をつくって海外の人も入ってくる。住環境の良いところに集中、水の恩恵を考える、水道水の味比べなど問題提起することによって市民の意識を高める、水の大切さを理解。景観を見つめ直して再認識できるような機会を設ける。住環境の計画的な整備が大切である。	① ③	
36	4	3	意見	4-7	下水道整備について、説明会が少ない。もっと膝を交えての話し合いが必要。高齢になって今からお金をかけてまで水洗化しないという人もいる。合併浄化槽設置した後、下水道が入る地域・ケースがあった。丁寧な説明が必要。	③	
37	4	3	意見	4-7	千厩は下水道これからのところが多い。下水道がきていてもつないでいない人も多いため、繋いでもらって水環境の保全を図る必要がある。	③	
38	4	3	意見		危険空き家は何とかしよう、空き家バンクを活用しようなど積極的な情報発信をする必要がある。	⑤	空き家バンク整備事業

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
39	4	3	意見		昔の家を修復するには、構造・耐震・断熱などにお金がかかるという問題がある。	③	空き家バンク事業については検討を進めています。
40	4	3	意見	4-5	子育て世帯、高齢者世帯向けなどライフスタイルに合わせた住宅整備。都心ではスケルトン住宅という自分でリフォームできる住宅もあるので参考にしたらよいのではないか。	①	
41	4	3	意見	4-5	市営住宅と一般住宅の供給のバランスを考える必要がある。	①	
42	4	3	意見		田舎に人が戻ってくるには、環境と雇用(収入)の整備が必要。	⑤	移住定住促進事業、移住定住奨励助成事業、いちのせきファンクラブ事業
43	4	3	意見		空き家をどう使うか、人を外部から持ってくるのか。→出て行った人に戻ってきてもらう。人口減少をどうするか。人を呼ぶ手段を考えなければならない。	⑤	移住定住促進事業、移住定住奨励助成事業、いちのせきファンクラブ事業
44	4	3	意見		今の農業は、大規模化、集落営農化でなければやっていけない。	③	
45	4	3	意見	4-4	資源エネルギー循環型まちづくりを市で検討しているが、森林資源を生かしたバイオマスエネルギーの活用を目指してほしい。	④	1-1-7
46	4	3	意見	4-3	森林資源等の活用について、起爆剤としての補助金を創設したほうがよい。	③	
47	4	3	意見	4-3	間伐材の利用、社会的に回してお金になるような仕組みづくりが必要である。	⑤	一関市バイオマス産業化支援事業
48	4	3	意見		エコ通貨・地域通貨のような仕組み(商品券のようなもの)があったらよいのではないか。	⑤	通貨ではないが、各地域で商品券事業を実施しています。
49	4	3	意見		大型店舗が入ってきても地域にお金が落ちる仕組みを作ってもらわないと	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
50	4	3	意見		まち全体の情報力を上げないといけない。 イベントの集客、制度の周知など全体的に。	⑤	市公式ホームページではイベント情報を掲載しています。
51	4	3	意見		魅力・幸せ感があり、生活に満足できる魅力あるまちづくり。住環境がきちんとしていて、現金収入があっても人口は減る	③	まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少の抑制に取り組んでいくこととしています。
52	4	3	意見	4-6、4-7	市内の工業団地での水問題はないか。上下水道の整備が、誘致企業の条件にもなっている。	③	
53	4	3	意見		人を呼ぶには、教育環境が必要。教育の場を整備することが必要。	③	3-2 義務教育・高等教育等、3-4 生涯に含まれます。
54	4	3	意見		小学校も統合になってきた。小さい学校では、人を思いやる気持ちが育まれるが、競争力が落ちる。大規模校は逆。どちらが良いかわからない。	③	
55	4	3	意見		近所づきあいが面倒くさい、人とのつながりが薄くなってきている。面倒くさいを思い直して人との付き合いをすることが次に繋がっていくと思う。	③	
56	4	3	意見		骨寺村荘園遺跡に関する取り組み、市民ができること 子供たちが誇りをもてるように 自然教育 生態系の勉強 景観に関心を持ってもらう	③	参考まで、施策の展開(1)骨寺村荘園遺跡の保護に追加した③の小区画水田保全活用方針の中に水生生物観察田としての活用を検討するとの記載があります。

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
1	5	2	意見	5-3-3	これまでの職歴等を生かした地域活動の参加推進	①	
2	5	2	意見	5-4-1	障がい者にも優しい道路、トイレ、観光地のバリアフリー化	①	
3	5	2	意見	5-4-1	一般の人も障がい者に関心をもてるような工夫	①	
4	5	2	意見	5-5-1	PTA、教育振興運動などを活用し若い世代を巻き込んだ健康への啓発活動	③	
5	5	2	意見	5-5-2	健診受診向上のため、受診しやすい支援(交通手段)を検討して欲しい。	③	
6	5	3	意見	5-6-2	災害情報、避難訓練など防災教育を徹底する取り組みを。	④	5-6-2②、5-6-2③
7	5	3	意見	5-6-2	学校開放(プール開放)で、親の安全管理の徹底が必要	② ⑤	計画への記載 ・家庭や地域、学校の連携を深め、 <u>子どもたちの安全確保</u> と、いじめや非行などの問題を未然に防ぎましょう。 ・学校教育課と消防で連絡を図り、対応していくこととしています。 なお、プール監視をする父兄等を対象に普通救命講習を実施しています。
8	5	3	意見	5-6-2	各民区の防災機材を集約したり、地区間の連携を強化する取り組みが必要。消防、市役所に頼むだけでなく、お互いを見守りしようという気持ち、コミュニティの育成を図る。地域協働体でも取り組みを進めていく。	③ ④	
9	5	3	意見	5-8-2	交通安全に関する意識改革が必要、そのために学習機会を提供してほしい。	⑤	各学校、高齢者向け交通安全教室等、実施済
10	5	3	意見		市職員やOBはこれまでの職責を生かし地域行事に参加する意識付けを。	③	
11	5	3	意見	5-8-1	小・中学校の中で防犯教育をする	③	

部会 No.	部会	回	質問・意見	項目	意見内容	対応	備考
12	5	3	意見	5-7-3	小・中学校の中でAED、救命講習をする	⑤	学校教育課と連携し救急講習を実施しています。 「命をつなぐプロジェクト」事業
13	5	3	意見	5-7-3	女性の応急手当普及員を増やしていく、取り組みを行い、気軽に参加出来る環境づくりを行う。	③	女性消防団員や女性教諭を中心に普及員養成に努めています。 講習会の分割を可能にする等、調整を図りながら普及活動を進めていきたい。
14	5	3	意見	5-6-1 5-8-2	祭、運動会などで防犯、防災教育の出前教室をPRしていく取り組みをしてはどうか。	③	
15	5	3	意見	5-8-2	自転車の法改正に伴う安全講習会を開催する。	③	各学校及び施設等で実施済
16	5	3	意見	5-6-2	火防点検の時に「あすも」使用を呼びかけしてはどうか。防災に必要な機能であることを認識してもらおう。	④	2-6-2 消防団員の会議等の席上でも、広く呼びかけしていきたい。

○ 各部会で選択した(仮)重点施策について

No.	第 回	部会	施策No.	【重点】 施策の展開No.	【重点】 施策の展開項目	【重点】施策を選択した理由
1	4	1	1-1	1-1-2	人が喜ぶ農林水産の生産・販売支援	消費者が喜ぶものを作ることで販路が拡大し、生産者の所得が安定する。そのことで農業の魅力が向上し、担い手、新規参入につながるため
2	4	1	1-1	1-1-4	農業生産基盤の整備と担い手育成	農業の生産環境を整備することで、担い手にとって魅力ある農業となるため
3	4	1	1-2	1-2-3	地域内発型産業の振興	これまで一関が築いてきた産業インフラを活用して、地域産業イノベーションを図る必要があるため
4	4	1	1-2	1-2-2	ものづくり人材の確保と育成	現在及び将来、地域を担う人材を育成することが産業の発展に欠かせないため
5	4	1	1-3	1-3-3	活力ある商業の振興	地域に根ざした三次産業の振興を図る必要があるため
6	4	1	1-4	1-4-1	関係機関との連携による就業支援	地元への就業を促進するとともに、定着への支援の必要性が高いため
7	4	1	1-5	1-5-1	観光資源の発掘及び活用	一関の観光資源の情報発信と周辺市町村とのネットワーク構築が必要なため
8	4	3	3-1	3-1-3	幼児教育及び保育環境の充実 →保育環境及び幼児教育の充実 に修正 してはどうか	出産後のサポート体制が大切。生んですぐ子供を預けられる体制が必要。保育環境の充実。0歳から2歳児の需要が高い。 (3)の中でも②が重要と思われる。表題も保育環境の充実を先に表記してはどうか。
10	4	3	3-2	3-2-2	地域の連携強化と学校運営の充実	(2)地域の連携強化でこどもの健全育成を進めたい。(1)は基本的な事項であるため、(2)を重点施策として選択。
11	4	3	3-3	3-3-2	青少年の社会参加機会の充実	(2)地域との連携強化の中で社会参加の機会を充実させたい。
12	4	3	3-4	3-4-2	生涯学習活動への支援	(2)環境整備はされているので、市民参加が大切。
13	4	3	3-5	3-5-1	文化・芸術活動の振興	(1)(2)どちらも重要。
14	4	3	3-5	3-5-2	スポーツレクリエーション活動の推進	(1)(2)どちらも重要。
15	4	3	3-6	3-6-2	男女共同参画社会の推進	(2)社会的機運として重要。
16	4	3	3-7	3-7-2	地域文化の伝承	(2)地域の文化を知ることで保護にもつながる
17	4	3	3-8	3-8-1	骨寺村荘園遺跡の保護	(1)保護が世界遺産登録にもつながる。世界遺産ありきではない。

No.	第 回	部会	施策No.	【重点】 施策の展開No.	【重点】 施策の展開項目	【重点】施策を選択した理由
18	4	4	4-1	4-1-1	自然の保全と活用施策の充実	(1)が最優先。(2)次世代への啓蒙活動を進める。(3)公害苦情は法律相談や市で動いていただくことだと思う。
19	4	4	4-1	4-1-2	環境教育の充実	(1)と(2)だと思う。市域は広すぎる。次世代への啓蒙を図るのは大切。若い人だけでなく全体に啓蒙は必要。
20	4	4	4-2	4-2-1	公園・緑地の整備	市は緑が多いことから、緑化もこの項目に含まれる。
21	4	4	4-3	4-3-2	低炭素社会のシステムづくり	
22	4	4	4-4	4-4-1	ごみの発生抑制・再利用・再生利用の推進	3は将来的には大切だが、リサイクル等に取り組んでいく必要があるため。
23	4	4	4-5	4-5-3	良好な景観形成の推進	地域の魅力を生かして解体ではなく活用することが必要だから。
24	4	4	4-6	4-6-1	安全な水の安定供給	ラインを長くするだけでなく、地域の井戸や湧水の活用も可能であると考え、不安定な要素(地震などによる井戸枯れ等)あるため。
25	4	4	4-7	4-7-1	処理施設の整備と普及促進	

No.	第 回	部会	施策No.	【重点】 施策の展開No.	【重点】 施策の展開項目	【重点】施策を選択した理由
26	4	5	5-1	5-1-1	地域医療体制の充実	2, 3にも繋がる事項である。医療機関の体制だけではなく、適正受診のために、市全域としての移動手段の充実(患者の足の確保)も必要。
27	4	5	5-2	5-2-2	地域福祉活動への市民参加の促進	住民の参加、交流がまず重要である。
28	4	5	5-2	5-2-3	暮らしやすい環境づくり	住民の参加、交流がまず重要である。
29	4	5	5-3	5-3-3	生涯現役社会づくりの推進	長いスパンで見ると、将来にいきてくる。できることに取り組むことで、介護予防、健康維持に繋がる。
30	4	5	5-4	5-4-1	障害の有無に関わらず安心して暮らせる地域づくりと社会参加の促進	多様な視点で他分野との連携が必要。
31	4	5	5-5	5-5-1	健康づくり活動の推進	心の健康を保つことも重要。受診結果のPDCA。地域の連携、一部の人に集中する役割・負担軽減にもつながる。
32	4	5	5-6	5-6-2	災害に強いまちづくり	災害は防げない。起きる事を前提に取組をすることが必要。
33	4	5	5-6	5-6-3	地域防災活動の充実	自主防災組織の取組が必要になってくる。顔の見える防災。
34	4	5	5-7	5-7-1	消防力の強化	指標による数値で見えることにより、意識向上につなげる。全て重要であり、比較はできない。
35	4	5	5-7	5-7-2	予防体制の強化	指標による数値で見えることにより、意識向上につなげる。全て重要であり、比較はできない。
36	4	5	5-7	5-7-3	救急体制の充実	指標による数値で見えることにより、意識向上につなげる。全て重要であり、比較はできない。
37	4	5	5-8	5-8-1	防犯体制の整備	生命の安全を最優先に考えるべき。
38	4	5	5-8	5-8-2	交通安全対策の推進	生命の安全を最優先に考えるべき。子供と高齢者が安心して歩ける環境。